世界へ発信！2つのユネスコ遺産

■問合せ　世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室（☎ 82-3663）

縄文の魅力を未来へつなぐ！

私たちの足元には、数千年にもおよぶ悠久の歴史が眠っています。洞爺湖町にある世界遺産「入江・高砂貝塚」は、かつてこの地で暮らした人々の息づかいを今に伝える地域の宝です。今回は、その魅力を発信している二つの団体をご紹介します。

アプタ・フレナイの会

縄文文化に親しみ、縄文の価値と魅力を後世に伝えることを目的に発足した縄文サークルです。遺跡の清掃活動など、世界遺産を守る担い手としても活躍しています。

メンバーと一緒に遺跡に立ち、縄文の素晴らしさを肌で感じてみませんか？

TOYAKO 縄文ガイドの会

入江・高砂貝塚の案内役として、目に見えるモノだけではない「縄文のくらしや心」を分かりやすくガイドしています。毎週日曜日には、無料ガイドも実施中。

あなたも「縄文の語り部」になってみませんか？先輩ガイドがしっかりサポートします。

世界遺産登録５周年記念　洞爺湖縄文講演会　開催！

世界遺産登録５周年記念　洞爺湖縄文講演会
「獲る　食べる　生きる　～狩猟をとおして「いのち」を見つめる～」

■講　師　黒田未来雄氏（元 NHK 自然番組ディレクター）
■日　時　６月 20 日（土）午後１時 30 分
■場　所　入江・高砂貝塚館
■入場料　無料

アプタ・フレナイの会と TOYAKO 縄文ガイドの会の主催で講演会を開催します。

講師はカナダ先住民の猟師に弟子入りし、自らも猟師となった黒田未来雄さん。日々、命と向き合う視点から、縄文人の心を探ります。縄文時代、狩猟は生きる中心にありました。現代の猟師が抱く「いのち」への思いは、縄文人とどう響き合うのか。黒田さんの体験を通したお話は、私たちの知る縄文文化に新しい息吹をもたらしてくれるでしょう。

活動に興味がある人も、まずは講演を聞いてみたい人も、ぜひ入江・高砂貝塚館へお越しください！